



各務原市議会議員(無会派)

水野 たけお

～市議会報告(号外)～ 令和7年2月1日発行



Q. どうしていつもミッキーの手袋をして見守り隊活動をしているの?

A. 朝のあいさつが笑顔で楽しくできるように、子供たちに人気のミッキーマウス手袋をしています。

すべてのコミュニケーションはあいさつから始まります。各務原市をおもしろく暮らすための実践ですね。



Q. 水野たけおはどんなまちを目指しているの?

A. どんな人にも居場所があり、みんなの個性が活かされる「共に生きるまち、共につくる未来」を目指します。

活気があり、安心・安全で、まちも人の心もきれいな社会。

スローガンは「おもしろく みんなに優しく 美しく」

【令和6年12月定例会】

令和6年度一般会計補正予算

- 自治会活動推進費 2億4768万円
国の臨時交付金を活用し、自治会への臨時交付金(1世帯あたり5000円)の交付や、老朽化した街路灯の撤去に対して補助するもの。
- 価格高騰重点支援給付金給付事業費 4億3582万円
住民税非課税世帯に1世帯当たり3万円を、さらに対象世帯に18歳以下の児童がいる場合、児童1人あたり2万円を加算して給付するもの。
- 商業振興対策費 7550万円
商店街などがかかえる街路灯の撤去にかかる費用を補助するもの。
- 体育施設整備費 3066万円
営業停止中の市民プールの屋外プールについて、令和7年度の夏季営業再開に向けて修繕費などを計上。

土地の取得について

- 城山の土地を各務原市土地開発公社から約1億1126万円で取得するもの。まずは文化財として保存管理される予定。

条例改正

- 市街化調整区域における開発行為の許可基準に関する条例を一部改正し、事故用の一戸建て専用住宅または事故用の一戸建て兼用住宅に限定していた規制を、民間事業者が扱う建売住宅や、建築条件付きの宅地分譲が可能となる。稲羽東小付近が対象。

プロフィール

昭和50年(1975年)6月10日生まれ

【議会】市議会議員3期目

- ・民政常任委員会 委員 (総務、建設水道、経済教育常任委員長などを歴任)
- ・市議会だより編集委員会 委員

【地域】

- ・交通安全協会 那加第3分会 役員
- ・前洞新町3ボランティアハウス 役員

【その他】

- ・各務原JC・OB会 会員
- ・全国若手市議会議員の会 OB 会員
- ・岐阜☆青年市町村議員ネットワーク 会員
- ・前洞新町3近隣ケアグループ
- ・通学路見守り隊
- ・政治団体「はるか」副代表
- ・一般社団法人林英臣政経塾 代表監事
- ・日本航空少年団 岐阜団 理事



<水野たけお後援会事務所>

504-0021
各務原市那加前洞新町 2-68
070-8417-7588

mizuno_takeo@yahoo.co.jp



Facebook





【水野たけおの一般質問】

Q. 火災や救助活動など、ドローンの活用の有効性が高まっているが、実績は。また、山岳や河川での捜索に活用した実績は。

A. これまで19件のドローン出動があり、火災活動8件、山間部と河川での捜索救助が1件ずつあった。要救助者の捜索、延焼方向や熱源の確認、消防活動補助や安全管理を行っている。

Q. 機体および操作可能な人員の配置は。

A. 2機を消防本部に配置、操縦士は45名を消防本部と各消防署に適正配置している。今後、より効果的な訓練を研究し、操作技能の向上に努める。PRについても、様々な形で発信できるように研究し、防災意識向上に寄与する。



以前、山間部におけるドローンの活用を質問しており、実績を問うものです。

Q. 昨今、夏場の厳しい暑さが続き、登下校中の児童生徒への熱中症対策が必要と考えるが、どのような対策をとっているか。

A. 今年度、24名の児童生徒が登下校時に熱中症など気分が悪くなったとの報告を受けている。登下校時の暑さ対策として、事前に十分水分を摂る、水筒を携行しこまめな水分補給、ネックバンドや日傘の使用も推奨している。暑さ指数によっては下校時刻を変更し、学校で待機する等、対応している。子ども110番の家においても、暑さをしのぐための受け入れをお願いしており、児童生徒に周知するとともに、ご協力いただける方を増やしていく。

Q. 今後の暑さ対策は。

A. これまでの対策に加え、児童生徒自身が健康管理をする力を身につける事も大切なため、気候にあった服装、バランスの取れた朝食や十分な睡眠をとるなど、「保健体育等の教科の授業」、「ほけんだより」、「お昼の放送」等を通じて指導する。



Q. 近年、短時間豪雨の浸水被害が心配されている。本市における流域治水の考え方は。

A. あらゆる関係者がハード・ソフト両面から治水対策を行う考えで、雨水幹線整備、校庭貯留や調整池の整備、農業用ため池の低水位管理など、雨水の流出抑制を行ってきた。また、企業の開発行為においては、雨水貯留施設の設置や駐車場の透水性舗装、緑地の確保をお願いしている。

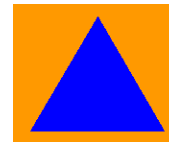
Q. 家庭に設置する雨水タンクに補助金を出す自治体もあるが、どのように考えるか。

A. 家庭の雨水タンクは貯めた雨水をガーデニングや家庭菜園、洗車などに活用できるメリットや水資源の節約につながる。また、災害時にトイレの排水などにも使えて防災面でも有効である。一方、治水対策のためには雨が降る前にタンクを空にしておく必要があるが、ほとんどは生活用水の利用に留まるため、まずは市民の皆様には流域治水の啓発を行い、各家庭で取り組む事ができる具体的な対策についてウェブサイトで周知する。



関市、美濃加茂市、多治見市などでは家庭に雨水タンクを設置する際、補助金を出しています。環境面、防災面、など、総合的に判断して推進していくように働きかけたいです。

このマークをご存じですか？



←このマークは、ジュネーブ諸条約に規定されており、国民の保護のための措置を行う人を識別するために定められた国際的な特殊標章です。

各務原市国民保護計画には、平常時の備えや情報の伝達手段、避難・救援に関すること、武力攻撃災害への対象などが定められています。市民の命に関わる極めて重要な計画ですが、あまり知られていないのが現状で、啓発について、必ずしも計画通りできているとは言えません。過去の議会の場で指摘させて頂きました。